

## 平成24年第4回定例会 議事録から抜粋（平成24年12月4日）

### 行財政・議会改革等推進特別委員会委員長（河野数則 君）

行財政・議会改革等推進特別委員会は、平成23年第3回定例会で、行財政改革・議会改革及び防災対策等に関する調査・検討及びその意見反映を図るために設置されました。「行財政改革に関すること」「議会改革に関すること」「危機管理・防災対策に関すること」を大きな柱として掲げ、具体的な改革並びに行財政のあり方について調査・検討をスタートいたしました。

以来今日まで、当特別委員会において11回の議論を重ねてまいりました。中でも、東日本大震災を契機とした「危機管理・防災対策に関すること」については、平成23年度危機管理・防災対策の結果報告や別府市防災計画素案の概要等、常に執行部からその進捗状況の報告を受けながら、当特別委員会としての意見を述べております。

この「危機管理・防災対策に関すること」と並行して、最優先に取り組んだ項目が「議会改革に関すること」であります。既に実施済みの改革項目も含めて、さらに審査を重ねた結果、これまでに一定の結論、方向性が出されましたので、ここに中間の報告をさせていただくものであります。

まず、議会改革につきましては、「市内旅費の費用弁償の廃止」を決定し、本年第1回の定例会において可決され、今年度4月1日より施行されたところであります。

次に、常任委員会の削減・統合につきましては、昨年統一地方選挙より、議員定数を4名減といたしましたが、より慎重な委員会審査を行うべく、4常任委員会を3常任委員会に削減・統合し、委員会での提言事項等を検証するため、任期を2年とし、また、各委員会定数を定めることを全員一致で決定した次第であります。

また、地方自治法の一部を改正する法律による標準委員会条例の一部改正に伴う「別府市議会委員会条例の一部改正（案）」とあわせ、今期定例会の最終日に議会運営委員会より提案予定であります。

続いて、当初予算（案）に関しては、次期3月定例会において「予算特別委員会」を新たに設置し、会派代表質問、個人質問の持ち時間を定め、議員全員で審査することを決定し、また、予算の伴う事件議案については、議会運営委員会において予算議案とあわせ審査することを了承した事件議案に限り、通告を認めるものと決定した次第であります。

最後に、「市民と議会との対話集会の開催」についてであります。

平成25年度においては、平成26年度の本格的な開催を前提に試験的に年

1回、中央公民館及び各地区公民館の6会場で開催することを全員一致で申し合わせました。

また、班編成につきましては、議長を除く12名ずつで班を構成し、議長は公務がない限り全会場で議会を代表して挨拶を行う旨、決定したところであります。

さらに、議会報・ホームページ委員会の名称、構成員等を改め、新たに設置する広報広聴委員会において対話集会の進め方を検討することといたしました。

また、新たに委員会を設置することで、会議規則の一部改正を行う必要があることから、標準会議規則の一部改正に伴う「別府市議会会議規則の一部改正(案)」とあわせ、委員会条例の一部改正(案)とともに今期定例会に提案予定であります。

なお、当特別委員会の今後の方針であります。行財政改革にかかる水道局の合理化、競輪事業の改革、職員の定員管理について協議を行う予定であります。

以上、行財政・議会改革等推進特別委員会の中間報告とさせていただきます。